

中小企業景況調査報告書

平成30年1～3月期実績

平成30年4～6月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：平成30年1～3月期の実績(3月見込)平成30年4～6月期見通し

②調査期間：平成30年2月22日～3月1日 ※調査時点は平成30年3月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別
枝幸町、安平町、鹿追町、更別村、弟子屈町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、斜里町、湧別町、新ひだか町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	44	86.3%	小売業	89	79	88.8%
建設業	50	44	88.0%	サービス業	110	102	92.7%
				合 計	300	269	89.7%

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期				比	
	今期	来期見込	H29. 1-3	H29. 4-6	H29. 7-9	H29. 10-12	今期	来期見込
製造業	▲ 29.5	▲ 27.5	▲ 31.0	▲ 7.3	▲ 7.1	▲ 18.6	▲ 27.0	▲ 12.2
建設業	0.0	▲ 7.3	▲ 5.4	7.1	11.2	▲ 2.3	▲ 9.5	▲ 2.4
小売業	▲ 38.2	▲ 32.9	▲ 48.7	▲ 32.4	▲ 21.6	▲ 40.0	▲ 48.6	▲ 34.7
サービス業	▲ 28.8	▲ 29.9	▲ 35.2	▲ 18.6	▲ 7.2	▲ 21.9	▲ 25.8	▲ 25.0

3. 北海道内商工会地域の状況

製造業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H29. 4-6	H29. 7-9	H29. 10-12	今期	来期見込
業 況	好転した	9.1	10.0	12.2	11.9	9.3	10.8	14.6
	不 変	52.3	52.5	68.3	69.1	62.8	51.4	58.6
	悪化した	38.6	37.5	19.5	19.0	27.9	37.8	26.8
	D・I	▲ 29.5	▲ 27.5	▲ 7.3	▲ 7.1	▲ 18.6	▲ 27.0	▲ 12.2
売上(加工)額	増加した	18.2	9.1	35.6	31.3	32.6	13.6	
	不 変	38.6	59.1	42.2	45.8	37.0	34.1	
	減少した	43.2	31.8	22.2	22.9	30.4	52.3	
	D・I	▲ 25.0	▲ 22.7	13.4	8.4	2.2	▲ 38.7	
資金繰り	好転した	7.0	7.0	0.0	4.3	8.9	4.8	
	不 変	76.7	72.1	84.1	82.9	80.0	69.0	
	悪化した	16.3	20.9	15.9	12.8	11.1	26.2	
	D・I	▲ 9.3	▲ 13.9	▲ 15.9	▲ 8.5	▲ 2.2	▲ 21.4	
原材料仕入単価	上昇した	40.5	29.3					
	不 変	54.7	65.8					
	低下した	4.8	4.9					
	D・I	35.7	24.4					
採算(経常利益)	好転した	9.3	4.8					
	不 変	58.1	57.1					
	悪化した	32.6	38.1					
	D・I	▲ 23.3	▲ 33.3					

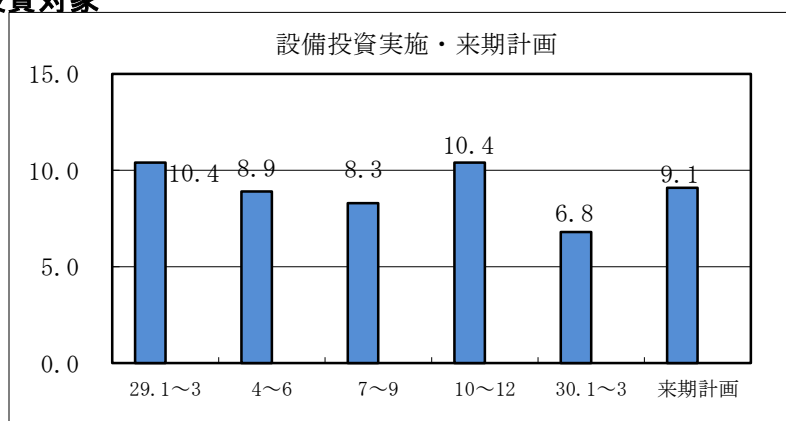
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答44事業所の内、3事業所(6.8%)が実施。
 ●OA機器=2事業所、●生産設備、
 車輛・運搬具=各1事業所

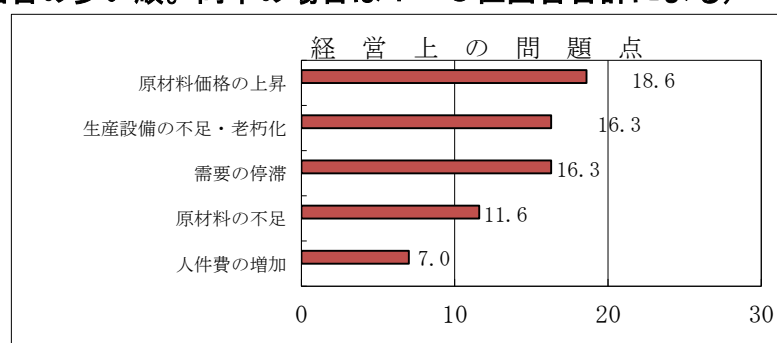
【来期計画内容】

回答44事業所の内、来期に4事業所(9.1%)が計画。
 ●生産設備=3事業所、●付帯施設、
 OA機器=各2事業所、●土地、
 工場建物、車輛・運搬具、福利厚生施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回4位「原材料の不足」と5位「人件費の増加」は前回番外、その他は前回の5位までに入っていた。今回1位「原材料価格の上昇」は前回17.8%より若干増、2位「生産設備の不足・老朽化」は前回4位(13.3%)、3位「需要の停滞」は前回2位(17.8%)であった。



建設業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H29. 4-6	H29. 7-9	H29. 10-12	今期	来期見込
業 況	好転した	14.0	7.3	11.9	15.6	14.0	11.9	11.6
	不 変	72.0	78.1	83.3	80.0	69.7	66.7	74.4
	悪化した	14.0	14.6	4.8	4.4	16.3	21.4	14.0
	D・I	0.0	▲ 7.3	7.1	11.2	▲ 2.3	▲ 9.5	▲ 2.4
完成工事 (請負工 事) 額	増加した	20.9	13.6	28.9	38.6	31.8	18.6	
	不 変	46.5	63.7	48.9	52.3	45.5	27.9	
	減少した	32.6	22.7	22.2	9.1	22.7	53.5	
	D・I	▲ 11.7	▲ 9.1	6.7	29.5	9.1	▲ 34.9	
資金繰り	好転した	9.3	7.0	6.8	7.1	7.1	9.5	
	不 変	83.7	76.7	88.7	92.9	83.4	73.8	
	悪化した	7.0	16.3	4.5	0.0	9.5	16.7	
	D・I	2.3	▲ 9.3	2.3	7.1	▲ 2.4	▲ 7.2	
材 料 仕入単価	上昇した	55.8	39.5					
	不 変	44.2	60.5					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	55.8	39.5					
採算(経 常利益)	好転した	6.8	4.5					
	不 変	77.3	72.8					
	悪化した	15.9	22.7					
	D・I	▲ 9.1	▲ 18.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答44事業所の内、3事業所(6.8%)が実施。

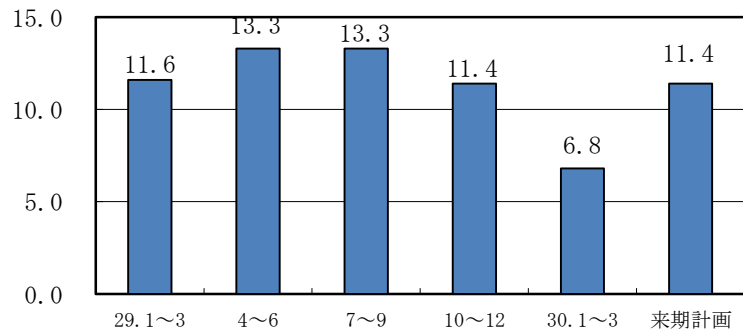
●車輛・運搬具、OA機器、=各2事業所

【来期計画内容】

回答44事業所の内、来期は5事業所(11.4%)が計画。

●車輛・運搬具=3事業所、●建物=2事業所、●土地、OA機器、福利厚生施設、その他=各1事業所

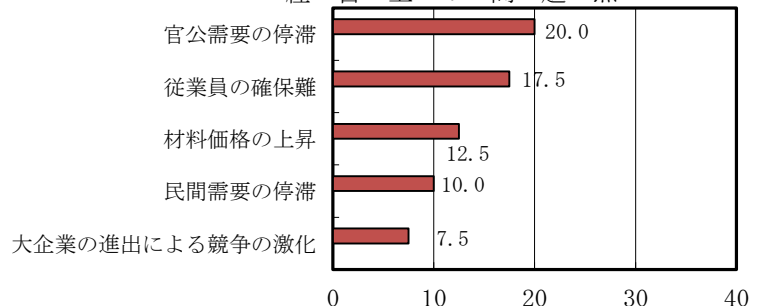
設備投資実施・来期計画



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回3位「材料価格の上昇」と5位「大企業の進出による競争の激化」は前回番外、その他は前回の5位までに入っていた。今回1位「官公需要の停滞」は前回は2位(21.6%)、今回2位「従業員の確保」は前回1位(21.8%)、今回4位「民間需要の停滞」は前回3位(16.2%)となっている。

経 営 上 の 問 題 点



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H29. 4-6	H29. 7-9	H29. 10-12	今期	来期見込
業 況	好転した	2.6	1.3	2.7	5.4	1.3	1.4	1.4
	不 変	56.6	64.5	62.2	67.6	57.4	48.6	62.5
	悪化した	40.8	34.2	35.1	27.0	41.3	50.0	36.1
	D・I	▲ 38.2	▲ 32.9	▲ 32.4	▲ 21.6	▲ 40.0	▲ 48.6	▲ 34.7
売上額	増加した	9.0	2.6	17.3	28.0	21.7	11.7	
	不 変	42.3	52.5	38.3	34.1	41.0	31.2	
	減少した	48.7	44.9	44.4	37.9	37.3	57.1	
	D・I	▲ 39.7	▲ 42.3	▲ 27.1	▲ 9.9	▲ 15.6	▲ 45.4	
資金繰り	好転した	1.3	1.3	2.5	2.5	1.2	1.3	
	不 変	70.1	72.7	76.2	78.7	77.8	64.0	
	悪化した	28.6	26.0	21.3	18.8	21.0	34.7	
	D・I	▲ 27.3	▲ 24.7	▲ 18.8	▲ 16.3	▲ 19.8	▲ 33.4	
商 品 仕入単価	上昇した	25.6	17.9					
	不 変	69.3	78.3					
	低下した	5.1	3.8					
	D・I	20.5	14.1					
採算(経 常利益)	好転した	1.3	1.3					
	不 変	57.7	64.1					
	悪化した	41.0	34.6					
	D・I	▲ 39.7	▲ 33.3					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

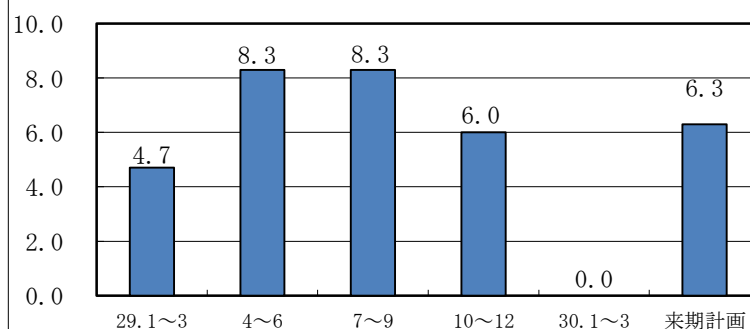
回答79事業所の内0事業所
(0.0%)が実施。

【来期計画内容】

回答79事業所の内、来期は5事業所(6.3%)が計画。

●店舗=2事業所、●車輛・運搬具、OA機器、その他=各1事業所

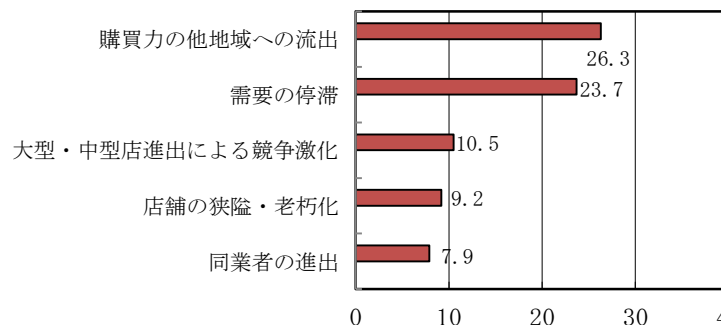
設備投資実施・来期計画



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回の調査結果では、1位～3位まで、問題点も順位も前回の調査結果と全く同じであった。今回1位「購買力の他地域への流出」は前回35.9%から減少、今回2位「需要の停滞」は前回23.1%から若干増、今回3位「大型・中型店進出による競争激化」は前回12.8%より減少、今回4位「店舗の狭隘・老朽化」は前回5位3.8%より増加、今回5位「同業者の進出」は前回番外となっている。

経 営 上 の 問 題 点



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H29. 4-6	H29. 7-9	H29. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	5.9	3.1	11.3	12.4	5.2	5.4	7.3
	不 変	59.4	63.9	58.8	68.0	67.7	63.4	60.4
	悪化した	34.7	33.0	29.9	19.6	27.1	31.2	32.3
	D・I	▲ 28.8	▲ 29.9	▲ 18.6	▲ 7.2	▲ 21.9	▲ 25.8	▲ 25.0
売上(収入)額	増加した	12.7	5.0	26.7	23.8	11.9	10.8	
	不 変	37.3	56.4	35.2	44.8	42.6	44.1	
	減少した	50.0	38.6	38.1	31.4	45.5	45.1	
	D・I	▲ 37.3	▲ 33.6	▲ 11.4	▲ 7.6	▲ 33.6	▲ 34.3	
資金繰り	好転した	2.0	1.0	4.9	6.9	0.0	3.1	
	不 変	77.8	75.0	73.5	78.2	84.4	74.5	
	悪化した	20.2	24.0	21.6	14.9	15.6	22.4	
	D・I	▲ 18.2	▲ 23.0	▲ 16.7	▲ 8.0	▲ 15.6	▲ 19.3	
仕入単価(材料等)	上昇した	33.0	28.9					
	不 変	62.0	64.9					
	低下した	5.0	6.2					
	D・I	28.0	22.7					
採算(経常利益)	好転した	5.9	3.1					
	不 変	56.5	62.2					
	悪化した	37.6	34.7					
	D・I	▲ 31.7	▲ 31.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

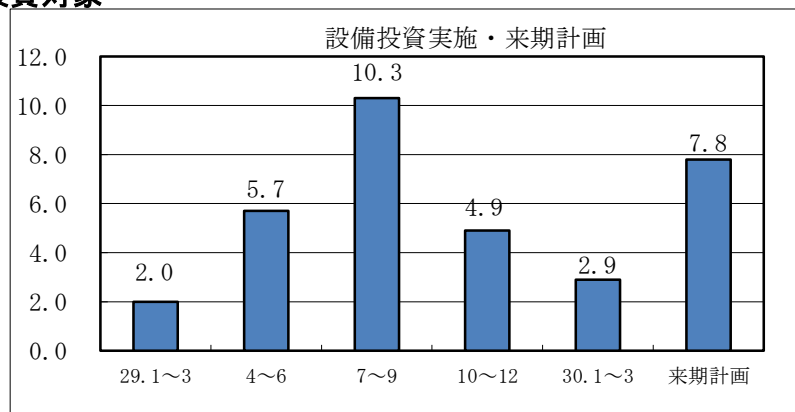
回答102事業所の内、3事業所(2.9%)が実施。

●サービス、車輛・運搬具、付帯施設=各1事業所

【来期計画内容】

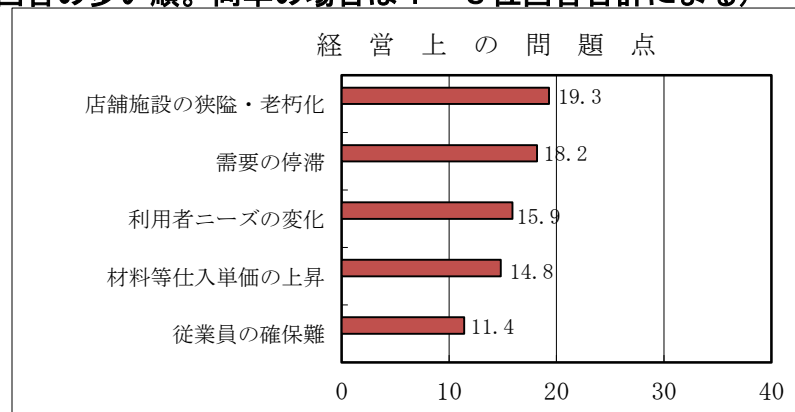
回答102事業所の内、8事業所(7.8%)が計画。

●サービス=各6事業所、●建物、付帯施設、OA機器、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回の調査結果では、1位～5位まで、順番の変動はあるが前回の5位までに入っていた。今回1位「店舗施設の狭隘・老朽化」は前回3位(15.1%)、今回2位「需要の停滞」は前回1位(24.7%)、今回3位「利用者のニーズ」は前回2位(17.2%)、今回4位「材料等仕入単価の上昇」は前回12.9%から増加、今回5位「従業員の確保難」は前回9.7%から増加。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

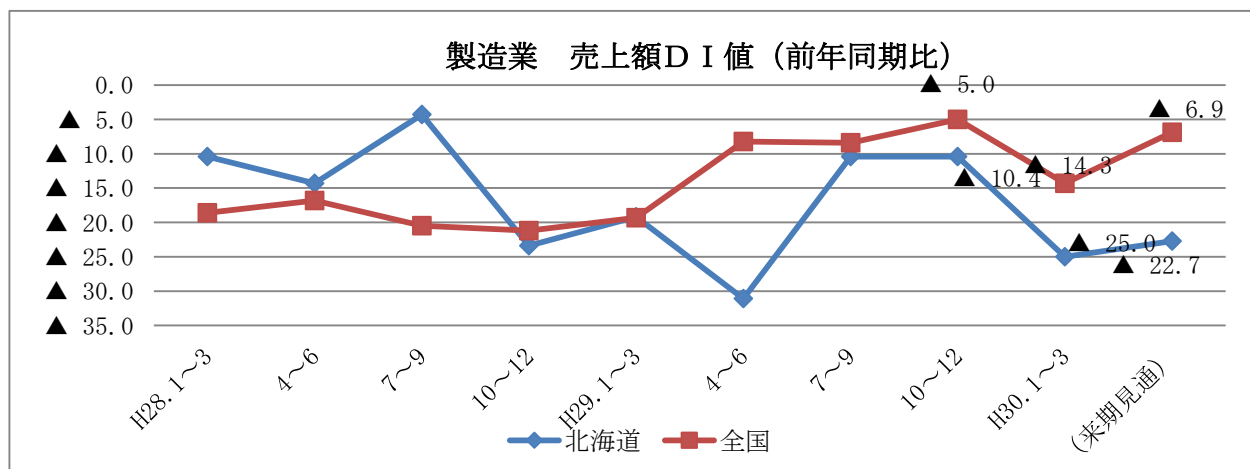
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

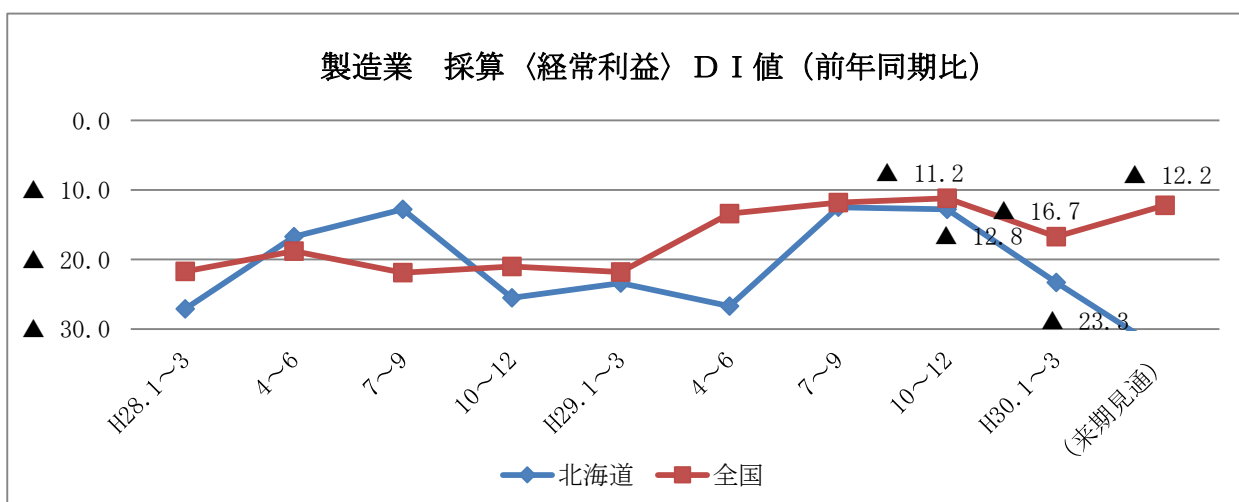
【北海道】(今期)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…横ばい
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加

【全 国】(今期)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

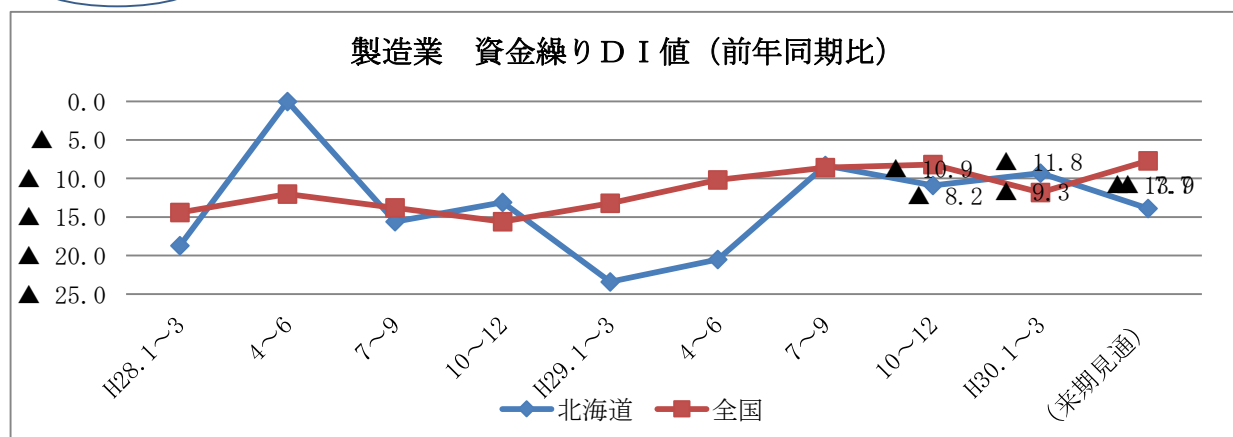
売上額



採 算



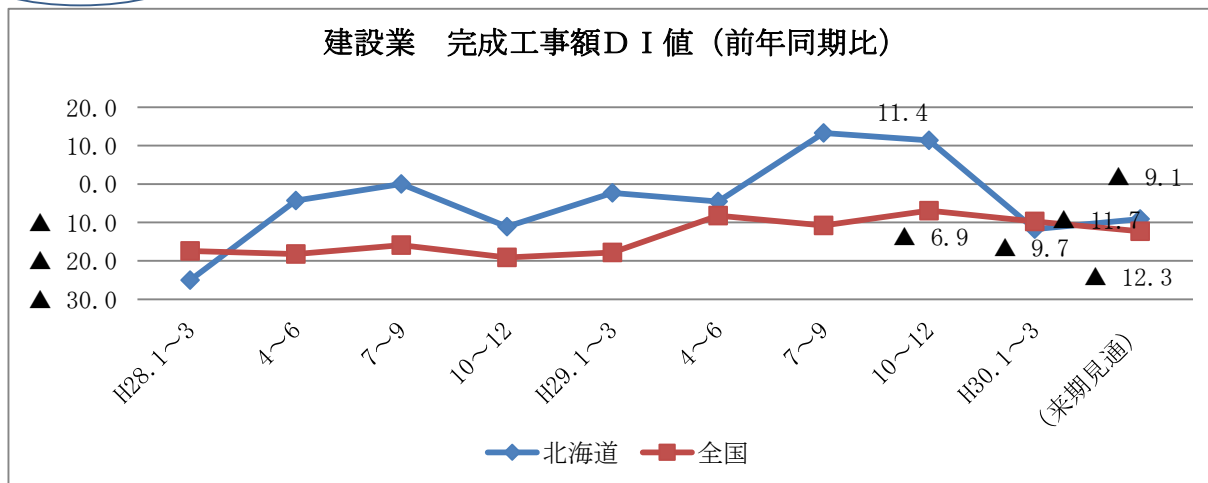
資金繰り



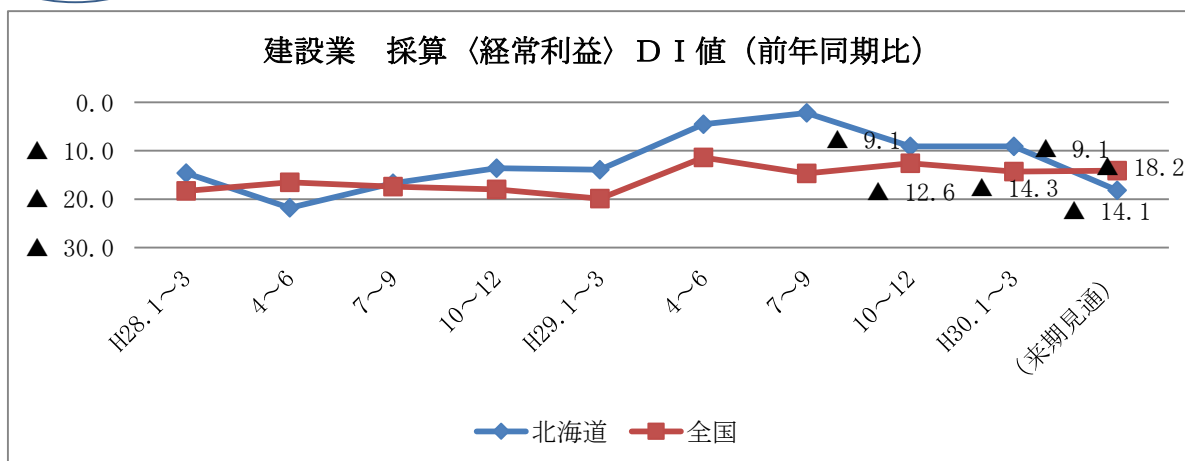
建設業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・横ばい、採算▲DI値・・・横ばい、資金繰り▲DI値・・・減少
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加
 【全 国】(今期)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加
 (見込)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・横ばい、資金繰り▲DI値・・・増加

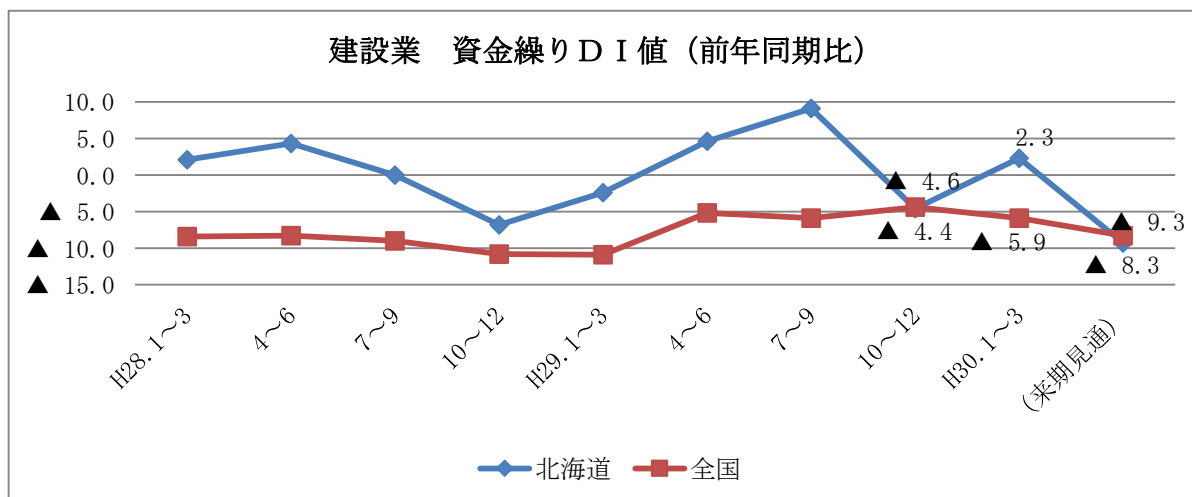
完成工事額



採 算



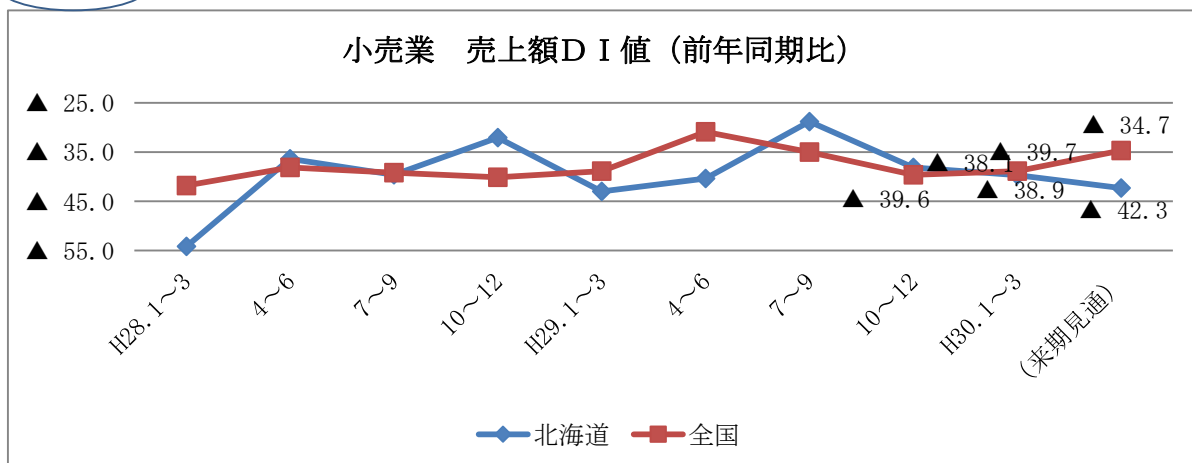
資金繰り



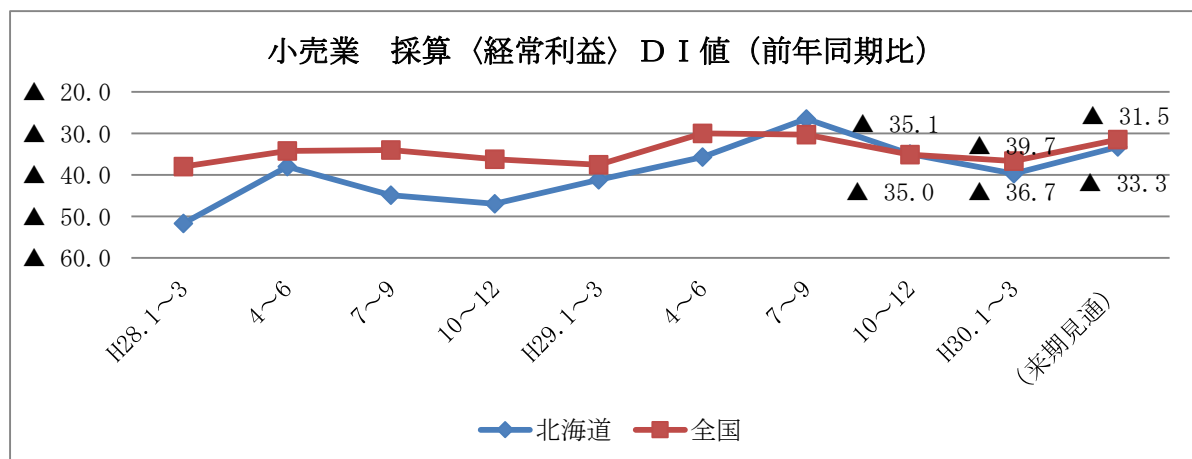
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加
 (見込)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 【全 国】(今期)売上額▲DI値…横ばい、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…横ばい

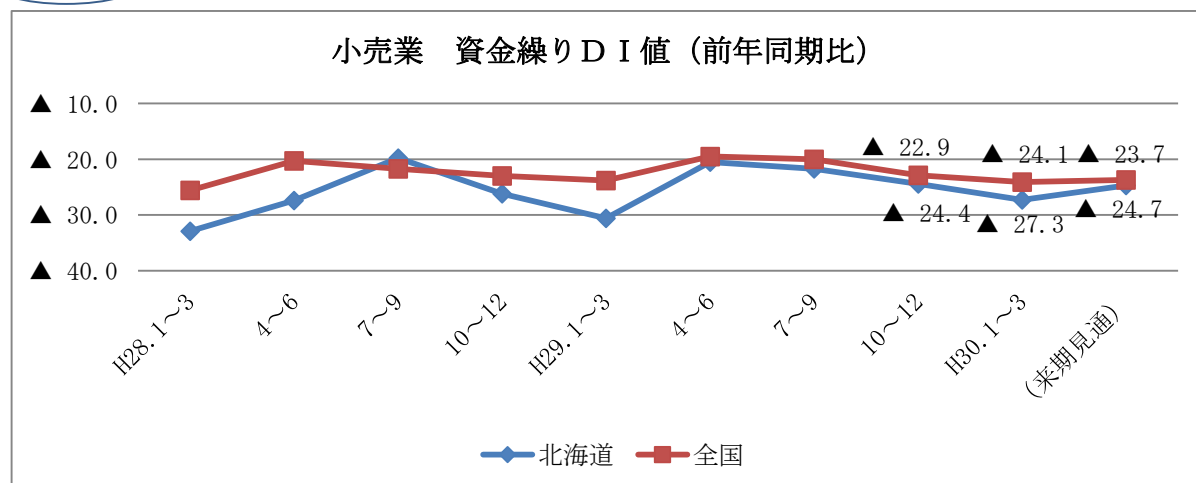
売上額



採算



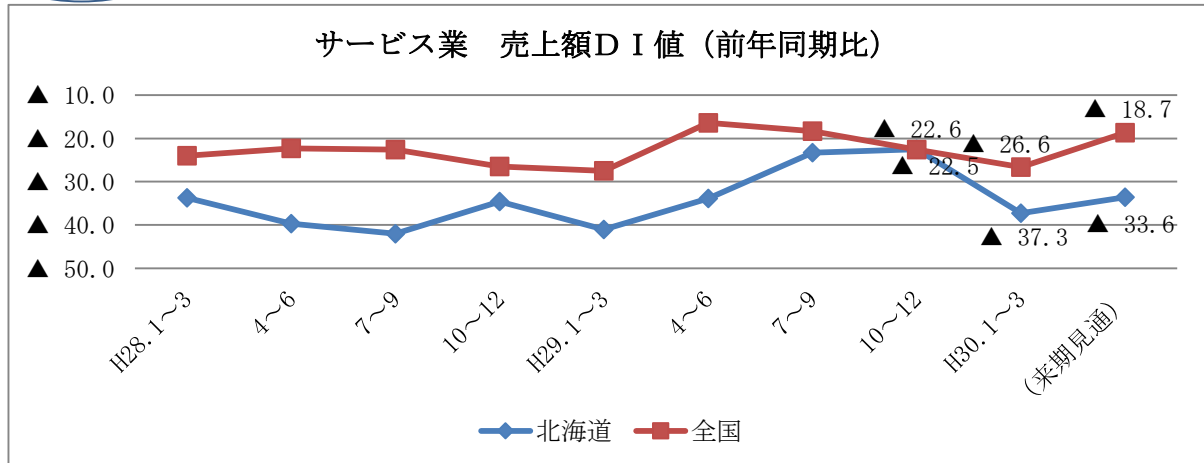
資金繰り



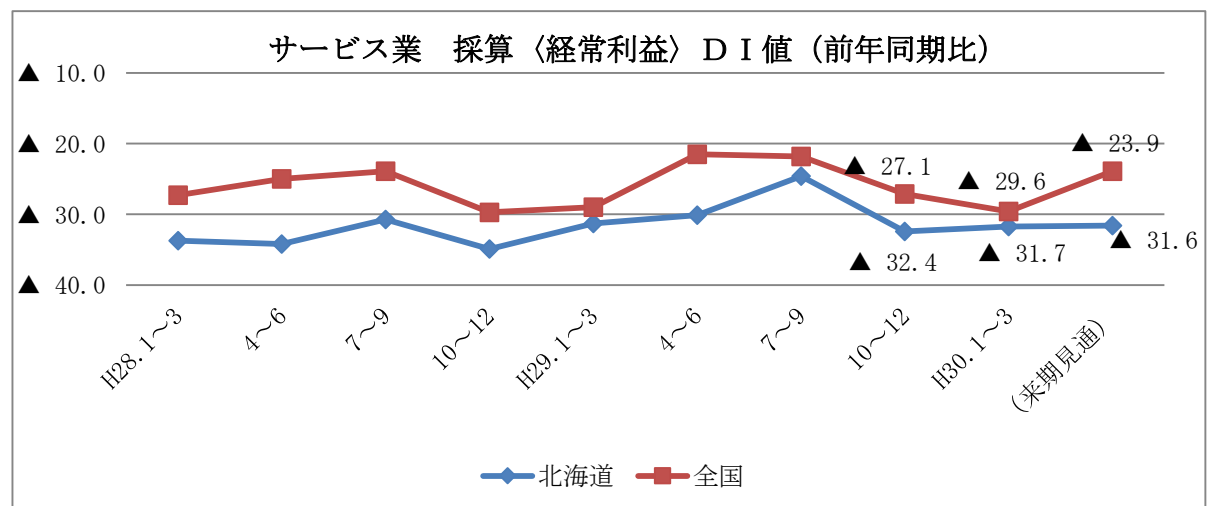
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・横ばい、資金繰り▲DI値・・・増加
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・横ばい、資金繰り▲DI値・・・増加
 【全 国】(今期)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

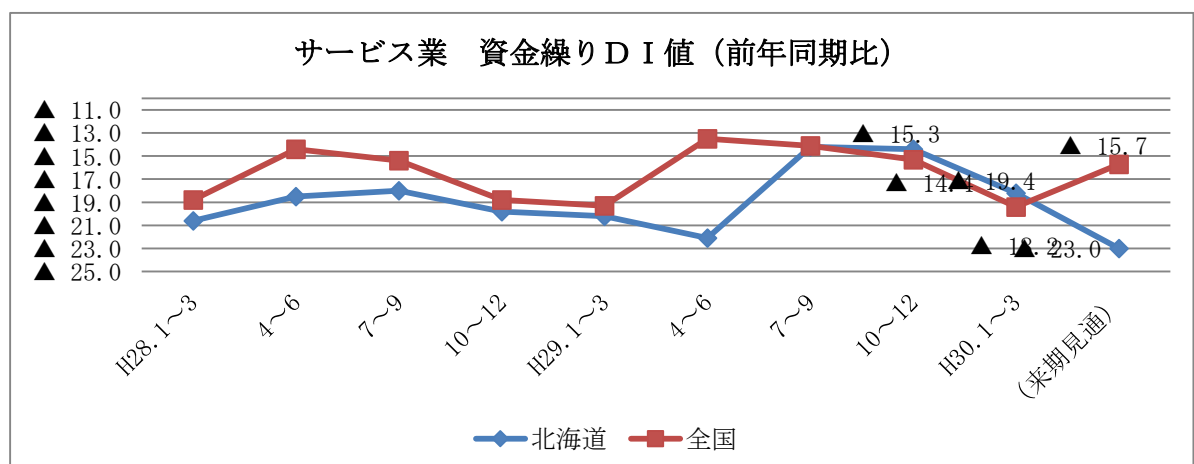
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業 種	内 容
製造業	●受注については昨年よりも増えてきている。このまま常に受注があれば会社も回ると思う。 ●人口減少、また1月2月共に天候が良くなかったので売上を伸ばせた店はない。これからも良くなる見通しは立っていない。 ●現在の業況は悪くはないが、先行きが見えない不安がある。 ●天候不順や漁況の悪化に伴い今後は厳しい。 ●小麦粉やそば粉など主要原料の値上げ、また、運送費や燃料費等の値上げが厳しい。 ●原材料の不足や価格の上昇による新事業への設備投資資金不足で、事業の展開ができない。また、年々、従業員の平均年齢も上がっていく一方で、新たな人員確保ができない状況にある。 ●港の原魚の水揚げが極端に少なくなり、工場の操業ができない。
建設業	●工事施工の引合いが活発なので、従業員確保が困難。 ●高校生求人や中途採用の求人を出しているが、中々応募がなく厳しい。 ●数年前は、価格競争入札が多くあったが、最近は少なくなり、マイペースで受注できている。 ●現況においては、大雪の影響により、工期の遅れを取り戻せるかが深刻な問題であり、また、今年は当町の選挙もあり、町発注の工事の遅れも考慮すべきこととゼロ国債での発注工事の減少次第では厳しい年になると予想される。 ●大企業と中小零細企業の格差・二極化がはっきりと出てきた。どの業界も人手不足に悩んでいるので、対策が難しい。働き方改革の影響で更に厳しくなっていく。
小売業	●若い世代は、新聞購読をしない人が増加しているため、今後、業況は悪くなる一方。 ●大型店並みの価格を求められるケースが多く、単価が下がっている。 ●売掛金の回収が困難。 ●高齢化により得意先が減っている。 ●人口が減った分、売上も落ちている。 ●得意先の変化（高齢化、介護施設への入居、入院）等により、客数は激減している。初売りは今までの最低を更新しており、毎日が不安との戦いだ。景気は上向きとの記事を目にする度、信じられない思いでいる。 ●人口減少による常連客減少。 ●地域の顧客の高齢化。 ●人口減。

サービス業

●地域の人口が減少しているので、今後は厳しくなる。●新幹線開業効果も一服し、物価の上昇に伴い財布のひもが硬くなっている様に思う。当店の仕入価格の上昇、人件費の上昇で利益が下がっている様に思う。●親が入院したため、親の顧客の来店が減り、売上が減少すると思う。●家族でやってる店なので、人が少なくなると利益も減るのは仕方ないが、それにしても仕入単価が高く、利益もないので、人を使ってまで売上を上げようとは思わない。●12月、1月の客は昨年比で減っている。●忘年会の客数が少ない。●事業主と顧客の高齢化。低料金のカラー専門店の進出。●地区人口減少と店舗老朽化。●悪天候もあり客足が伸びなかった。天気の良い日にまとまって来ることはある。●人口減少による利用者の減少を強く感じる。●景気は良い方向に向いていると思う。人材不足が一番の問題だ。社員の高齢化と人件費の増加も懸念される。人材育成も課題の一つである。●今年は車検の台数が少ない年なので、売上高も下がる。顧客の高齢化による車離れ等の問題が山積状態。●今年度は前年度に設備投資を行ったので、従業員を増員して、仕事効率を少しでも上げて売上につなげていきたいと思っている。●人材離れ等による安定的な営業が出来ず、売上減になっており、仕入単価の上昇で利益幅が減少している。利用者のニーズに対応出来ていない現状があり、改善が必要である。●良くないものの安定している。このままの状態が続くようなら、少しずつ上向きに転じるものと思われる。消費税アップの後が心配である。●大型店の集客により、年々売上が減少している。